

Monthly Note

vol.121

(全労済協会だより)

2017年2月号

Think Tank of Mutual aid 相互扶助を実践するシンクタンク

CONTENTS

- 中央大学寄附講座
【公開講座】一般の方の参加を募集しています — 1
4月より中央大学法学部にて寄附講座を開講します。
学生以外の一般の方もご参加いただけます。
参加者を募集しています。
- 北海道労済
「ぼうさいタウン」イベントのご紹介 — 2~3
北海道労働者共済生活協同組合主催の「冬の防災・
震災」をテーマにしたイベントが開催されました。
内容は「北海道新聞」にも掲載されましたので、ご紹介いたします。
- 自治体提携慶弔共済保険の契約更新手続き
について — 4
自治体提携慶弔共済保険契約更新における、留意点
をご紹介します。
- 全労済協会からのお知らせ — 4
● 当面のスケジュール

中央大学寄附講座 【公開講座】一般の方の参加を募集しています

HPまたは
ハガキにて
申込受付中!

当協会は4月より中央大学法学部にて寄附講座を開講します。正規登録学生の受講する本講座は、全講義「公開講座」となっておりますので、学生以外の一般の方もご参加いただけます!!

メディアも注目するNPOリーダー、中央官庁の前事務次官、連合会長、全国でロールモデルとされる地方公務員など、第一線でご活躍中の専門家をお招きしての貴重な講義です。この機会に学生と一緒に講義に参加してみませんか? 皆様のご参加をお待ちしております。

<開催概要>

- 日 時 : 2017年4月19日~7月26日(毎週水曜日 ※GWを除く) 15:00~16:30
- 場 所 : 中央大学 多摩キャンパス(東京都八王子市東中野742-1)
- テーマ : 「福祉と雇用のまちづくり」
- 申込方法 : 締切日2017年3月17日(金)までに下記のいずれかの方法でお申し込みください。
4月3日(月)までに参加証および講座のご案内を郵送します。

HP

全労済協会シンクタンク

検索

http://www.zenrosaikyokai.or.jp/think_tank/

ハガキ (通常ハガキ)

ウラ面に①寄附講座希望 ②氏名・ふりがな ③性別 ④年齢 ⑤参加証の送付先住所 ⑥電話番号 ⑦メールアドレス ⑧本講座を知ったきっかけをご記入ください。オモテ面に「〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-11-17 ラウンドクロス新宿5F 全労済協会 調査研究部 行」とご記入の上、送付ください。

*登壇者、カリキュラム、お申し込みに関する注意事項等はHPをご覧ください。

*本講座は期間中の全講義への参加を一括申込とさせていただきます(欠席の場合の連絡は不要です)。

*申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。抽選の場合も当落に関わらず結果をお知らせします。

本件に関する中央大学へのお問い合わせはご遠慮ください。

お問い合わせは全労済協会まで。 < TEL:03-5333-5126 全労済協会調査研究部 >

北海道労済「ぼうさいタウン」のご紹介

2016年11月23日に北海道札幌市において、北海道労働者共済生活協同組合主催の「冬の防災・減災」をテーマにしたイベントが開催されました。このイベントは、疑似体験をメインに構成し、その体験を通じて冬の北海道で災害が起きたときの心構えと防災意識を高めることを目的に、最高気温 -4℃の中で開催されたようです。

イベント内容は「北海道新聞」にも掲載され、昨年暮れからの記録的な大雪を前にした貴重な体験となったようです。



力を合わせて消火活動！ バケツリレー

火災が起きた時には、初期消火がとても重要。阪神・淡路大震災でも、市民のバケツリレーによる消火活動が大きな力を発揮しました。参加者は、水入り消火器での消火器体験に加え、延焼防止のためのバケツリレーを力を合わせて行いました。



冬季体験型
防災イベント

ぼうさい タウン WINTER DISASTER SIMULATION 2016

～今、ここから「たすけ あい」を広げよう～

北海道で火災共済事業を開始して今年で60年。これを契機に、北海道労働者共済生活協同組合(全労済北海道本部)は、11月23日に札幌コンベンションセンターで冬の防災・減災をテーマにしたイベントを開催しました。約300人の参加者は避難生活の疑似体験を通して、冬の災害への心構えを高めました。

火災のときは冷静に対処しよう！ 煙体験

火災時の煙の怖さを疑似体験し、煙の特性や危険性を学ぶ煙体験イベント。煙で前が見えない中、姿勢を低くして進む安全な避難方法と冷静な判断力、行動力を養いました。



車に泊まる時にも大切なことが！

車中泊 体験

冬の災害時に暖房が利用できない状況を想定した車中泊を疑似体験。冬の北海道では、車内の温度はマイナス10度以下まで冷え込みます。エンジンを切った状態で寝袋や防寒着などでいかに寒さをしのげるかを体験しました。



冬の災害への心構えを育む。

企画／全労済北海道本部
記事制作／北海道新聞社広告局

北海道の災害を考えると、最も気がかりなのは冬に発生する災害への対処。避難所で安心して過ごすための準備は十分でしょうか？冬の災害への心構えを育み、できる限りの防災対策を日頃から備えておきたいものです。

避難生活を少しでも快適に！

段ボール ベッド体験

冬の避難所生活でいちばんの問題は寒さ。床からの寒さを防ぎ、就寝中の快適性を高める、ダンボール製の簡易ベッドを組み立て、暖かさや便利さを実感しました。



基調講演から



北海道の冬の災害に備えて、 万が一を生き抜くための知識と行動をしっかりと

日本赤十字北海道看護大学
教授
根本 昌宏 氏

災害は常に想定外、普段からの対策が必要です。複雑なプレート上に位置する日本は、どの地域で大きな地震が発生してもおかしくありません。札幌で震度7以上の直下型地震が起こった場合、冬季では死者が8,000人以上、うち6,000人以上が凍死すると想定されています。冬季被災では、低体温症に要注意です。動かずに冷気を受け続けると発症し、毛布などで暖める、温かい飲み物を飲ませるなどの処置が必要です。体育館などの避難所は、床下からの冷気が強く、全体を暖房することは困難です。周囲のノイズなどによる精神的ストレス、インフルエンザなどのリスクもあります。車中泊では

エコノミークラス症候群に注意が必要です。災害に備えて、自宅にはカセットコンロなど電気やガスがない生活に備えたグッズを揃えましょう。特に「水」の確保は必須。車の中にも寝袋や手回しラジオなどを常備したいものです。万が一のときには、みなさんの知恵を活かすことが大切です。キャンプで野外生活を体験するなど、日頃から防災対策を心がけましょう。



- 主催** 北海道労働者共済生活協同組合
- 後援** 北海道新聞社
- 協賛** 連合北海道
北海道労働者福祉協議会
北海道生活協同組合連合会
生活協同組合コープさっぽろ
全労済北海道本部
- 協力** 札幌市
札幌市防災協会
日本赤十字社北海道支部
北海道コカ・コーラボトリング株式会社



上記以外にも様々な疑似訓練が行われました

講演の後はグループに分かれ、さまざまな防災プログラムを体験。簡易担架づくりと搬送体験やダンボールベッド体験。バケツリレーでは、力を合わせて行動することの大切さを、煙体験や一次救命処置では、いざというときにいかに的確に行動するべきかを学びました。炊き出しコーナーでは、寒さの中で豚汁とおにぎりを味わいながら食の大切さを実感したことでしよう。

今回のプログラムは、普段は体験できないものばかり。参加者のみなさんは真剣に取り組みながら、防災への意識を高めていました。

会場の大ホールには二面にブルーシートが敷かれ、まさに避難所さながら。参加者はグループごとにシートに座り、避難所生活の疑似体験が始まりました。

まずは日本赤十字北海道看護大学の根本教授による「冬の災害を生き抜くための知識と行動」をテーマにした基調講演を実施。講演途中には避難所でのプライベートシーを守るダンボールパーティションづくりも体験し、参加者は避難所生活の大変さを実感しながら、冬の災害の怖さと防災への心構えや備えの大切さを学びました。

講演の後はグループに分かれ、さまざまな防災プログラムを体験。簡易担架づくりと搬送体験やダンボールベッド体験。バケツリレーでは、力を合わせて行動することの大切さを、煙体験や一次救命処置では、いざというときにいかに的確に行動するべきかを学びました。炊き出しコーナーでは、寒さの中で豚汁とおにぎりを味わいながら食の大切さを実感したことでしよう。

今回のプログラムは、普段は体験できないものばかり。参加者のみなさんは真剣に取り組みながら、防災への意識を高めていました。

避難所生活の
大変さを疑似体験
万が一の対処法を学びました

自治体提携慶弔共済保険の 契約更新手続きについて

4月は、多くの団体が新しい事業年度を迎え、事業年度に合わせて保険契約の更新をむかえられる団体も多いのではないのでしょうか。

自治体提携慶弔共済保険のご契約状況をみても、190団体のうち、じつに164団体と多くの団体が4月に契約更新を迎えられます。

今号では、自治体提携慶弔共済保険契約更新に際して、ご留意いただきたい点を下記のとおりご紹介いたしますので、ご参考にしていただきますよう、お願いいたします。



➤ 保障内容に変更がない場合 ⇒ 自動更新となり手続は不要です！

自治体提携慶弔共済保険は、特に申し出がない限り、満期を迎えるご契約と同じ保障内容で自動更新となります。保障内容に変更がない場合は、お手続きは不要です。

➤ 保障内容を変更したい場合 ⇒ 手続が必要となります。当協会までご連絡ください！

保障内容の変更には、お申込みをいただく必要がございます。
また、保障内容の変更に伴うスケジュールや、変更後の保険料の試算などのご相談も承っておりますので、変更を検討される場合は、当協会までご相談ください。

➤ 代表者・住所等に変更がある場合 ⇒ 手続が必要となります。当協会までご連絡ください！

保障内容に変更がない場合でも、契約代表者様の変更や、移転に係る住所変更など、各種変更が発生する場合がございます。この場合は、保障内容変更の手続きとは異なり、「変更・解約届」にて変更いただけます。「変更・解約届」をご希望の場合は、当協会までご連絡をください。

その他、ご不明な点等につきましては、お気軽にお問合せをいただきますよう、お願いいたします。

■ お問合せ電話番号：03-5333-5126（全労済協会 共済保険部）

■ 受付時間：9時～17時15分（土日祝祭日を除く）

全労済協会からのお知らせ

●全労済協会当面のスケジュール

日時	内容	主な内容など
2017年2月21日(火)	第156回理事会	2017年度事業計画(素案) 他

★ Vol.120号に同封しましたアンケートへのご協力に心より感謝申し上げます。貴重なご意見を多数頂戴することができました。アンケート内容を参考に今後もより良い広報活動に努めてまいります。

Monthly Note（全労済協会だより） vol.121 2017年2月

発行：**全労済協会**
一般財団法人 全国勤労者福祉・共済振興協会
発行人：高木剛 編集責任者：安久津正幸

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-11-17 ラウンドクロス新宿 5階
TEL. 03-5333-5126 (代表) FAX. 03-5351-0421
《ホームページ》 <http://www.zenrosaikyokai.or.jp/>